

令和8年度 1年 国語 年間指導計画評価規準

西東京市立田無第四中学校

学期	単元	章	内容等
1学期	言葉に出会うために 1 学びをひらく	詩「朝のリレー」 詩「野原はうたう」 物語「はじまりの風」	声を届ける相手を意識して、相手に届く適切な声の大きさと読む。 登場人物の関係や設定などに着目して読む。
	2 新しい視点で	説明「ダイコンは大きな根？」 説明「ちょっと立ち止まって」	文章の構成や展開を捉える。 文章と図表を照らし合わせ、情報を整理しながら読む。
	3 言葉に立ち止まる	詩・解説「空の詩 三編」 解説「比喩で広がる言葉の世界」 文法への扉1「言葉のまとまりを考えよう」 書写「楷書と行書」	詩の技法や表現方法を学ぶ。 行書を学び、目的に応じて楷書と行書を使い分ける。
2学期	4 心の動き	物語「大人になれなかった弟たちに……」 物語「星の花が降るころに」	登場人物の言動や情景描写に着目し、心情を読み取る。
	5 筋道を立てて	記録「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」 詩「大阿蘇」 文法への扉2「言葉の関係を考えよう」	筆者の主張と根拠を適切に結び付けて論理的に読む。
	6 いにしへの心にふれる	古典・解説「古典の世界」 古文「いろは歌」 古文「蓬萊の玉の枝―『竹取物語』から」 漢詩「今に生きる言葉」 書写「書き初め」	古典や漢詩の世界に親しみ、リズムを味わいながら繰り返し音読する。文章内の古文の表現から現代にも生きる教えを読み解く。
3学期	7 価値を見出す	意見「『不便』の価値を見つめ直す」	文章内の表現から適切に内容を理解する。
	8 自分を見つめる	小説「少年の日の思い出」 随筆「二十歳になった日」 文法への扉3「単語の性質を見つけよう」	登場人物の心情の変化などを適切に理解する。 それぞれの品詞の働きや役割を学ぶ。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準	社会生活において必要な国語について、その特質を理解し適切に用いることができる。	「話す・聞く・書く・読む」の領域において他の生徒との関わりの中で、意見を取り入れ考えを深めたり、自身の考えを伝え合う力を高めたりしている。	言葉の価値や意味について理解しようとし、言語感覚を豊かにしながら言葉を適切に用いようとしている。話し合い等の学習活動においても積極的に人と関わり、言葉を通じ思いや考えを深めようとしている。
評価方法	単元テスト 定期考査 漢字テスト等の小テスト など	単元テスト 定期考査 発表 聞き取りテスト 200字作文 など	発言の内容や授業態度 ワークの記述 提出物への取り組み状況 振り返りプリント など

学期	単元	章	内容等
1学期	【地理】世界と日本の地域構成	第1章 世界の姿	世界の地域構成
		第2章 日本の姿	日本の地域構成
	【歴史】歴史のとらえ方・調べ方	第1章 人々の生活と環境	世界各地の人々の生活
		第1章 歴史のとらえ方・調べ方	私たちと歴史
2学期	【歴史】原始・古代の日本と世界	第2章 原始・古代の日本と世界	人類の出現と文明のおこり
			日本の成り立ちと倭の王権 大帝国の出現と律令国家の形成 貴族社会の発展
3学期	【地理】世界のさまざまな地域	第2章 世界の諸地域	アジア州
			ヨーロッパ州
			アフリカ州
			北アメリカ州
3学期	【歴史】中世の日本と世界	第3章 中世の日本と世界	南アメリカ州
			オセアニア州
	【歴史】近世の日本と世界	第4章 近世の日本と世界	武家政治の始まり
			ユーラシアの動きと武家政治の変化 結びつく民衆と下剋上の社会 結びつく世界との出会い 天下統一への歩み

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準	我が国の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて、選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	提出物の内容 小テスト 定期考査など	提出物の内容 小テスト 定期考査など	提出物の内容など

学期	単元	章	内容等
1 学期	0章 算数から数学へ	1節 整数の性質	1 素因数分解
	1章 数の世界をひろげよう	1節 正負の数	1 符号付いた数 2 数の大小
		2節 加法と減法	1 加法 2 減法 3 加法と減法の混じった計算
		3節 乗法と除法	1 乗法 2 除法 3 四則の混じった計算 4 数の範囲と四則
		4節 正負の数の利用	1 正負の数の利用
	2章 数学のことは身につけよう	1節 文字を使った式	1 文字の使用 2 文字を使った式の表し方 3 代入と式の値
2節 文字式の計算		1 1次式の計算	
3節 文字式の利用		1 数の表し方 2 数量の間の関係の表し方	
2 学期	3章 未知の数の求め方を考えよう	1節 方程式とその解き方	1 方程式とその解 2 方程式の解き方 3 いろいろな方程式
		2節 一次方程式の利用	1 1次方程式の利用 2 比例式の利用
	4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう	1節 関数と比例・反比例	1 関数 2 比例と反比例
		2節 比例の性質と調べ方	1 比例の表と式 2 比例のグラフ 3 比例の表、式、グラフ
		3節 反比例の性質と調べ方	1 反比例の表と式 2 反比例のグラフ 3 反比例の表、式、グラフ
		4節 比例と反比例の利用	1 比例と反比例の利用
5章 平面図形の見方をひろげよう	1節 図形の移動	1 図形の移動	
	2節 基本の作図	1 作図のしかた 2 基本の作図 3 いろいろな作図	
	3節 おうぎ形	1 おうぎ形	
3 学期	6章 立体の見方をひろげよう	1節 いろいろな立体	1 いろいろな立体
		2節 立体の見方と調べ方	1 直線や平面の位置関係 2 面の動き 3 立体の展開図 4 立体の投影図
		3節 立体の体積と表面積	1 体積 2 表面積 3 球の体積と表面積
	7章 データを活用して判断しよう	1節 データの整理と分析	1 データの分布の見方 2 データの分布の特徴の表し方
		2節 データの活用	1 データの活用
		3節 ことからの起こりやすさ	1 起こりやすさの表し方

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価 規準	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとしたり，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
評価 方法	単元テスト 提出物の取組内容 定期考査 など	単元テスト 提出物の取組内容 定期考査 など	各課題の取組状況 振り返りの内容 定期考査の解き直し など

学期	単元	章	内容等
1 学期	ガイダンス 単元1：いろいろな生物とその共通点	1章 生物の観察と分類のしかた 1. 生物の観察 2. 生物の特徴と分類 2章 植物の分類 1. 花のつくり 2. 果実をつくらない花 3. 葉や根のつくり 4. 種子をつくらない植物 5. さまざまな植物の分類 3章 動物の分類 1. 身近な動物の分類 2. 脊椎動物 3. 無脊椎動物 4. 動物の分類表の作成	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身につける。 身近な生物についての観察・実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 いろいろな生物とその共通点や相違点に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。
	単元2：身のまわりの物質	1章 身のまわりの物質とその性質 1. 物の調べ方 2. 金属と非金属 3. 様々な金属の見分け方 4. 白い粉末の見分け方 2章 気体の性質 1. 身のまわりの気体 2. 気体の性質と集め方 3章 水溶液の性質 1. 物質が水にとけるようす 2. 溶解度と再結晶 3章 物質の姿と状態変化 1. 物質の状態変化 2. 物質の状態変化と体積・質量の変化 3. 状態変化が起こるときの温度とその利用	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた及び状態変化、水溶液のことを理解するとともに、それらの観察・実験に関する技能を身につける。 身のまわりの物質について、問題を見いだして見直しをもって観察・実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。 身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。
2 学期	単元3：身近な物理現象	1章 光の性質 1. 物の見え方 2. 光の反射 3. 光の屈折 4. レンズのはたらき 2章 音の世界 1. 音の伝わり方 2. 音の大きさや高さ 3章 力のはたらき 3章 力の世界 1. 日常生活のなかの力 2. 力のはかり方 3. 力の表し方 4. 力のつり合い	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身につける。 身近な物理現象について、問題を見いだして見直しをもって観察・実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現する。 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。
	単元4：大地の変化	1章 火をふく大地 1. 火山の姿からわかること 2. 火山の噴火によってふき出される物 3. 火山の活動と火成岩 4. 火山とともにくらす 2章 動き続ける大地 1. 地震の揺れの伝わり方 2. 地震が起こるところ 3. 地震に備えるために 3章 地層から読みとる大地の変化 1. 地層のなり立ち 2. 堆積岩 3. 地層や化石からわかること 4. 大地の変動 5. 身近な大地の歴史	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、火山や地震、地層について理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身につけている。 大地の成り立ちと変化について、問題を見いだして見直しをもって観察・実験を行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現する。 大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。
3 学期	単元4：大地の変化	1章 火をふく大地 1. 火山の姿からわかること 2. 火山の噴火によってふき出される物 3. 火山の活動と火成岩 4. 火山とともにくらす 2章 動き続ける大地 1. 地震の揺れの伝わり方 2. 地震が起こるところ 3. 地震に備えるために 3章 地層から読みとる大地の変化 1. 地層のなり立ち 2. 堆積岩 3. 地層や化石からわかること 4. 大地の変動 5. 身近な大地の歴史	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、火山や地震、地層について理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身につけている。 大地の成り立ちと変化について、問題を見いだして見直しをもって観察・実験を行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現する。 大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見直しをもって観察・実験などを行い、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業のようす 観察・実験の取り組み（準備・片付け含む） 提出物（ワークシート、ワーク 他） テスト（定期考査、小テスト、実技テスト） など 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のようす 観察・実験の取り組み（準備・片付け含む） 提出物（ワークシート 他） テスト（定期考査、小テスト） など 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のようす 観察・実験の取り組み（準備・片付け含む） 提出物（ワークシート、ノート 他） テスト（定期考査、小テスト、実技テスト） など

学期	題 材 名	教 材 名	指 導 内 容
1 学期	校歌について		歌唱、4拍子の指揮
	曲の構成を感じ取って、表現を工夫する	主人は冷たい土の中に	歌唱、音階、曲の構成
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて、その魅力を味わう	「春」第1楽章	鑑賞（情景、演奏形態、曲の構成、作曲者）
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫する	My Melody	音符、休符 創作（旋律づくり）
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫する	浜辺の歌	歌唱、歌詞の意味、音楽用語、曲想、作詞者、作曲者
	豊かな合唱に取り組む	合唱コンクール課題曲・自由曲	各声部の練習、合唱
2 学期	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫する	赤とんぼ	歌唱、歌詞の意味、音楽用語、曲想、作詞者、作曲者
	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わう	箏の基本的な奏法 さくらさくら	器楽（楽器の構造、奏法）
	曲想と音楽の構造との関わりを感じ取って、その魅力を味わう	魔王	鑑賞（情景、演奏形態、曲の構成、作曲者）
	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わう	雅楽「平調 越天楽」	鑑賞（演奏楽器、雅楽の特徴）
3 学期	豊かな合唱に取り組む	合唱コンクール課題曲・自由曲	各声部の練習、合唱
他	音楽演奏会		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	授業での様子 ワークシート 実技テスト 定期考査 など	授業での様子 ワークシート 定期考査 など	授業での様子 ワークシート など

令和8年度 1年 美術 年間指導計画評価規準

西東京市立田無第四中学校

学期	単元	章	内容等
1学期	オリエンテーション	美術の扉を開こう	図画工作から美術へ
	絵画、鑑賞	見つめ、感じ取り、描く	風景を撮影し、色鉛筆で描く
		心ひかれるこの風景	風景画の制作 お互いの作品を鑑賞する
	彫刻・工芸・鑑賞	自然の形や色を見つめて	粘土でそっくりアート お互いの作品を鑑賞する
絵画・デザイン	アクリル絵の具で描く	アクリルガッシュの使い方を知る メディウム等の画材を知る	
2学期	絵画・デザイン・鑑賞	文字で楽しく伝える	文字表現やさまざまな書体を探る
		レタリング【明朝体・ゴシック体】	明朝体・ゴシック体を描く
2学期	デザイン	絵文字がしゃべりだす	絵文字の制作 お互いの作品を鑑賞する
		色彩の基礎知識	有彩色と無彩色、色彩の三要素
3学期	デザイン・工芸	暮らしの中の色	色相環、トーン分類図を使用した配色
		「デザインや工芸」の世界	環境のカラーコーディネート
	鑑賞	気持ちを伝えるデザイン	ギフトカードの制作
		「絵や彫刻」の世界	自画像の鑑賞

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げようとしている。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養おうとしている。
評価方法	作品 プリント等提出物への取り組み 授業での制作、取り組みの様子など 定期考査	イメージスケッチ 作品 プリント等提出物への取り組み 授業での制作、取り組みの様子など 定期考査	取り組みの姿勢、授業での様子 イメージスケッチ プリント等提出物への取り組み 作品 定期考査

令和8年度 1年 保健体育 年間指導計画評価規準

西東京市立田無第四中学校

学期	単元	内容	詳細
1学期	体づくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	
	陸上競技	短距離走 リレー	スタート、スタートダッシュ、中間疾走、フィニッシュ スタート、バトンタッチ
	球技（ネット型）	バレーボール	様々なパス サーブ レシーブ 簡易ゲーム
1学期 & 2学期	水泳	四泳法	クロール 平泳ぎ
2学期	球技（ゴール型）	ハンドボール	パス&キャッチ シュート ゲーム
	陸上競技	長距離走（3学期） 走り高跳び	走法や呼吸法、持久走 助走、踏み切り、はさみ跳び
	器械運動	マット運動	接点技群 ほん転技群
3学期	柔道	礼法 受け身、崩し、体さばき 投げ技	立礼、座礼 横受け身、後ろ受け身 体落とし、大腰
	ダンス	現代的リズムのダンス 創作ダンス フォークダンス	リズムに合わせたダンス テーマを意識した創作 伝統的な踊り
	球技型（ベースボール型）	ソフトボール	キャッチングとスローイング バッティング 実践的な守備 ゲーム
年間	保健分野	健康な生活と病気の予防①	
	体育分野	心身の発達と心の健康 運動やスポーツの多様性	
その他	新体力テスト 運動会関係 スキー移動教室 歯科衛生指導		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価 規準	〔体育分野〕 運動の楽しさや喜びを味わい、 運動を豊かに実践することができるようにするため、運動体力の 必要性に理解するとともに、 基本的な技能を身に付けようとして いる。 〔保健分野〕 個人生活における健康安全につ いて理解するとともに、基本的 な技能を身に付けようとしてい る。	〔体育分野〕 運動についての自己の課題を発 見し、合理的な解決に向けて思 考し判断するとともに、自己や 仲間の考えたことを他者に伝え ようとしている。 〔保健分野〕 健康についての自他の課題を発 見し、より良い解決に向けて思 考し、判断するとともに他者に 伝えようとしている。	〔体育分野〕 運動における競争や協働の経験 を通して公正に取り組み、互い に協力し、自己の役割を果た し、一人ひとりの違いを認めよ うとしている。健康・安全に留 意し、自己の最善を尽くして運 動に取り組もうとしている。 〔保健分野〕 生涯を通じて心身の健康の保持 増進をめざし明るく豊かな生活 を送ろうとしている。
評価 方法	〔体育分野〕 定期考査 実技テスト ゲームや練習での様子 学習カードなど 〔保健分野〕 定期考査 単元末課題など	〔体育分野〕 定期考査 実技テスト ゲームや練習での様子 単元末課題など 〔保健分野〕 定期考査 単元末課題など	〔体育分野〕 運動に取り組む姿勢、態度 実技テストへの取組 学習カード 単元末課題など 〔保健分野〕 授業観察 単元末課題など

学期	題材	章	内容等
1学期	情報の技術	技術分野のガイダンス	・技術ガイダンス（学習の見通し）
		情報の技術の原理・法則としくみ	・情報の技術とは ・情報のデジタル化 ・情報ネットワークのしくみ
	材料と加工の技術	材料と加工の技術の原理・法則としくみ	・身の周りの材料と加工の技術 ・木材・金属・プラスチックの特性 ・材料に適した加工方法 ・製図
2学期	材料と加工の技術	材料と加工の技術による問題解決	・作品の構想 ・実習工具・機械の使い方 ・実習課題の設定 ・製作実習 ・作業手順を考えた製作 ・作品の修正
3学期	材料と加工の技術	社会の発展と材料と加工の技術	・問題解決の評価・改善 ・材料と加工の技術の最適化 ・これからの材料と加工の技術

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準	生活や社会で利用されている技術について理解していると同時に、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
評価方法	製作品 実技テスト 製図 学習プリント 定期考査	作品の構想 レポート 学習プリント 定期考査	発言・授業態度 学習プリント レポート 定期考査

学期	題材	章	内容等
1 学期	家族・家庭生活 衣食住の生活	家庭分野のガイダンス	・学習の見通し
		家族・家庭生活と地域	・家族の一員として ・家族とのかかわり ・地域の人々との協力・協働
2 学期		衣服の選択と手入れ	・衣服の役割 ・私らしさとTPO ・日本の衣服の文化 ・衣服の手入れ ・衣服計画と必要な衣服の選択
	生活を豊かにするために	・生活を豊かにするための布を用いた製作	
3 学期	衣食住の生活	私たちの食生活	・食事の役割 ・日常食の調理（肉）と地域の食文化 ・調理のための食品の選択と購入

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価 規準	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価 方法	提出物（プリント、ファイル、課題等） 製作品 定期考査 など	提出物（プリント、ファイル、課題等） 製作品 定期考査 など	提出物（プリント、ファイル、課題等） 製作記録等 観察 など

学期	単元	章	内容等
1学期	Unit 0	Nice to Meet You	小学校の振り返り
	Unit 1	Hello, Everyone!	be動詞 / 一般動詞
	Unit 2	Our New Teacher	He [She] is ... / Is he [she] ...? / I can ... / Can you ...? / This [That] is ... / Is this [that] ...?
	Unit 3	Our School	What ...? / Who ...? / How ...? / When ...? / Where ...? / It is 前置
	Unit 4	Friends in New Zealand	How many ...? / What time ...? / What + 名詞 ...? / 命令文
	Stage Activity 1	"All about Me" Poster	
2学期	Unit 5	My Brother in Hawaii	三人称単数現在形
	Unit 6	A Rakugo Performer from the U.K.	Do you know him [her] ? / Whose ticket ...? / It is mine [yours]. / Which ...?
	Unit 7	An Online Tour of the U.K.	現在進行形 / 感嘆文
	Unit 8	Think Globally, Act Locally	She wants [tries] to ... / What do you want to ...? / The children look happy.
	Stage Activity 2	My Hero	
3学期	Unit 9	Winter Vacation	一般動詞の過去形
	Unit 10	This Year's Memories	be動詞の過去形 / 過去進行形
	Stage Activity 3	My Favorite Event This Year	

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技術を身に付けている。 	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	英作文等 定期考査 単語、文法テスト スピーチ・プレゼンテーション 英会話・音読テスト など	英作文等 定期考査 単語、文法テスト スピーチ・プレゼンテーション 英会話・音読テスト など	英作文等への取組 単語、文法テストへの取組 スピーチ・プレゼンテーションへの取組 英会話・音読テストへの取組 など